

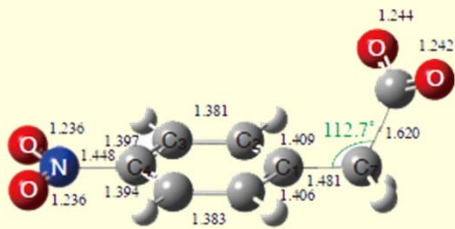
情報メディア教育研究センター 2016年度活動報告

2017年 3月 1日

情報メディア教育研究センター

研究領域

計算科学



BIG DATA

教育工学
情報基盤工学

Sakai

新たな複合領域の研究

Learning Analytics を用いた教育・研究支援

反転授業および航空操縦学における展開



理工学部機械工学科 航空操縦学専修における
視線データ解析(0.1秒ごとにデータ生成)

法政大学 HOSEI University ビデオ

- ホーム
- 関連ビデオ
- 動画管理
- プロフィール

ユーザ管理
クラス管理
システム設定

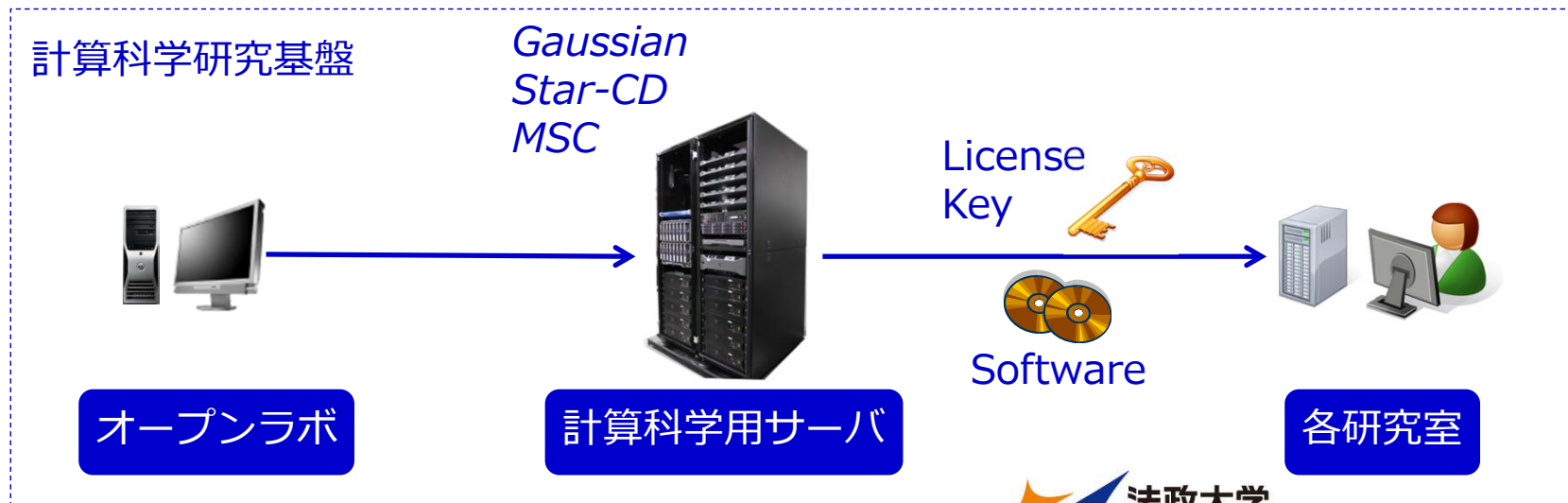
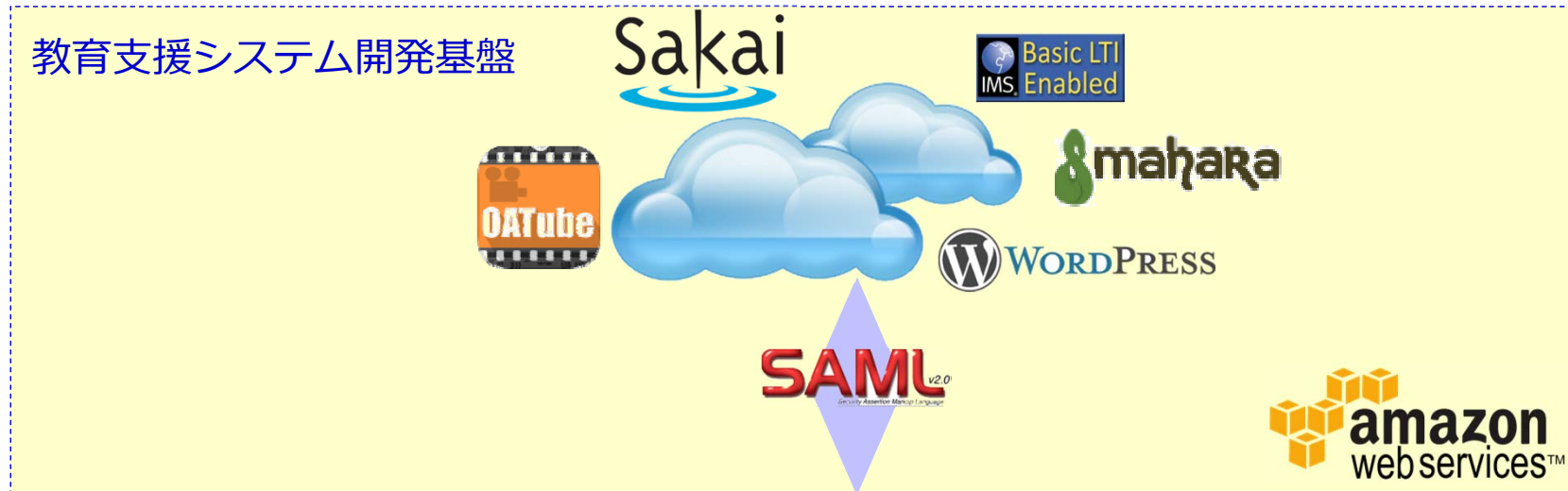
1. 妥当性と信頼性

心理学測定法 第1回「妥当性とは」

文学部心理学科
反転授業における
ビデオ視聴ログ解析

研究センターIT基盤

2016年度から教育支援システム開発基盤をクラウドに移行



AWS

アプリケーション要件にあった最適な基盤を提供できる



XAMPP
 32bit Amazon Linux

c1 (m1.medium)



c3 (t2.small)



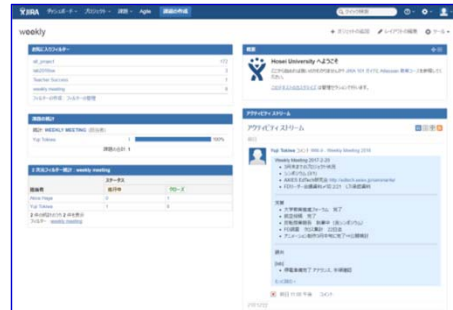
Sakai

c4 (t2.large)



XAMPP
 32bit Amazon Linux

c5 (m1.small)



c6 (t2.small)



c7 (t2.small)



c9 (t2.small)



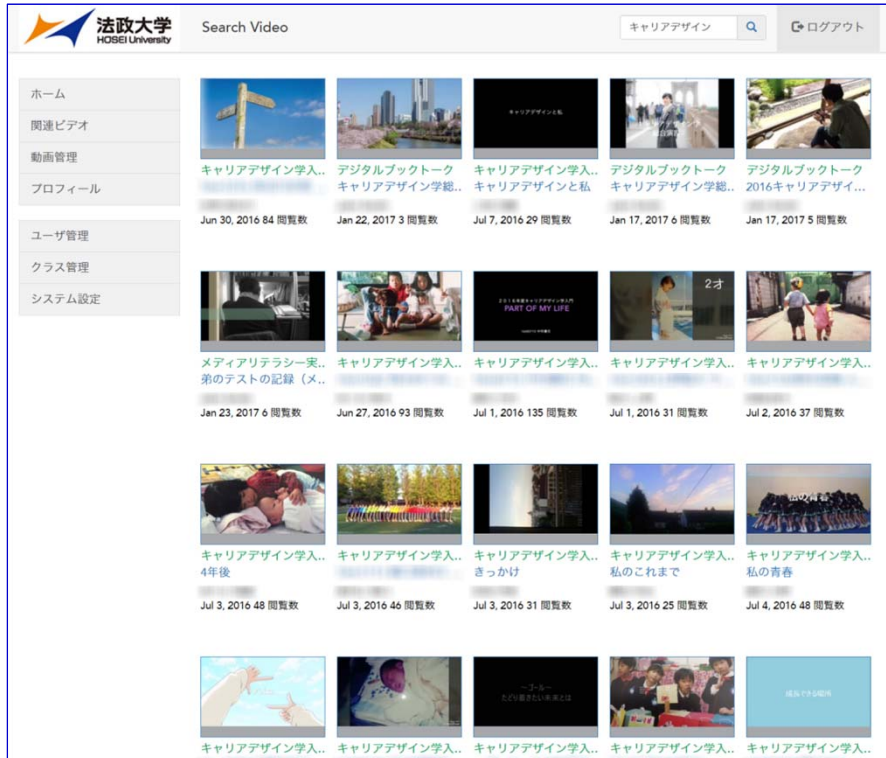
c13 (t2.small)



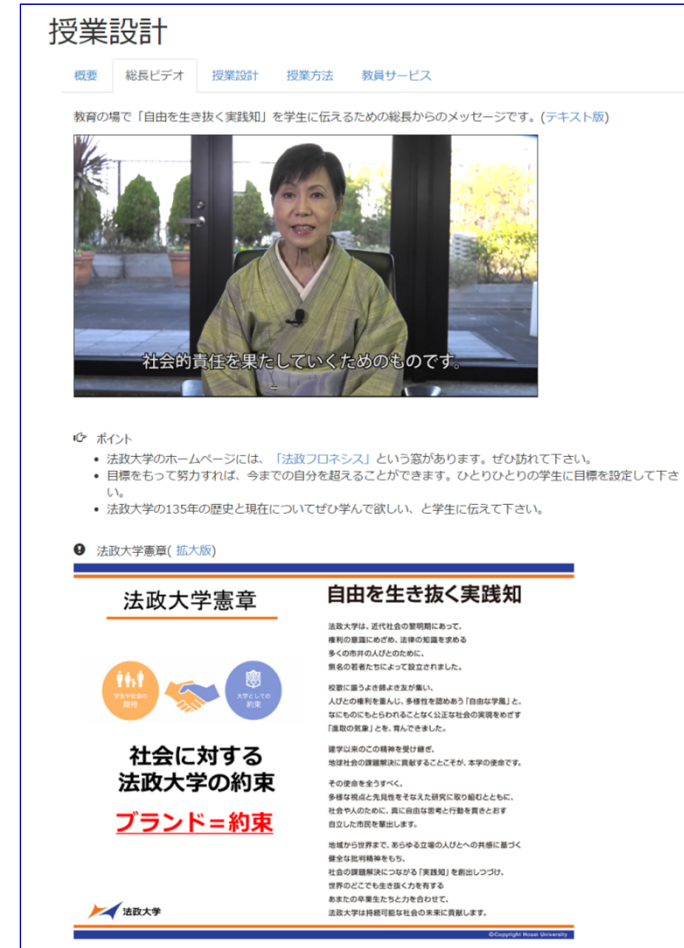
c15 (t2.small)

ビデオ活用

教育、研究、FDなどで多様な活用ができた



授業における利用～ Digital Story Telling 相互評価



授業設計

概要 総長ビデオ 授業設計 授業方法 教員サービス

教育の場で「自由を生き抜く実践知」を学生に伝えるための総長からのメッセージです。(テキスト版)

社会的責任を果たしていくためのものです。

ポイント

- 法政大学のホームページには、「法政フロネシス」という窓があります。ぜひ訪れて下さい。
- 目標をもって努力すれば、今までの自分を超越することができます。ひとりひとりの学生に目標を設定して下さい。
- 法政大学の135年の歴史と現在についてぜひ学んで欲しい、と学生に伝えて下さい。

法政大学憲章(拡大版)

法政大学憲章

自由を生き抜く実践知

法政大学は、近代社会の黎明期において、権利の確立に努め、法律の知識を授ける多くの市民の呼びかけのために、無名の若者たちによって創立されました。

校章に描くよき縁よき友が、人びとの権利を重んじ、多様性を認めあう「自由な学風」と、なごみあふむとらわぬことなごみあふむ社会の発展を期す「風情の薫る」とも、育んで来ました。

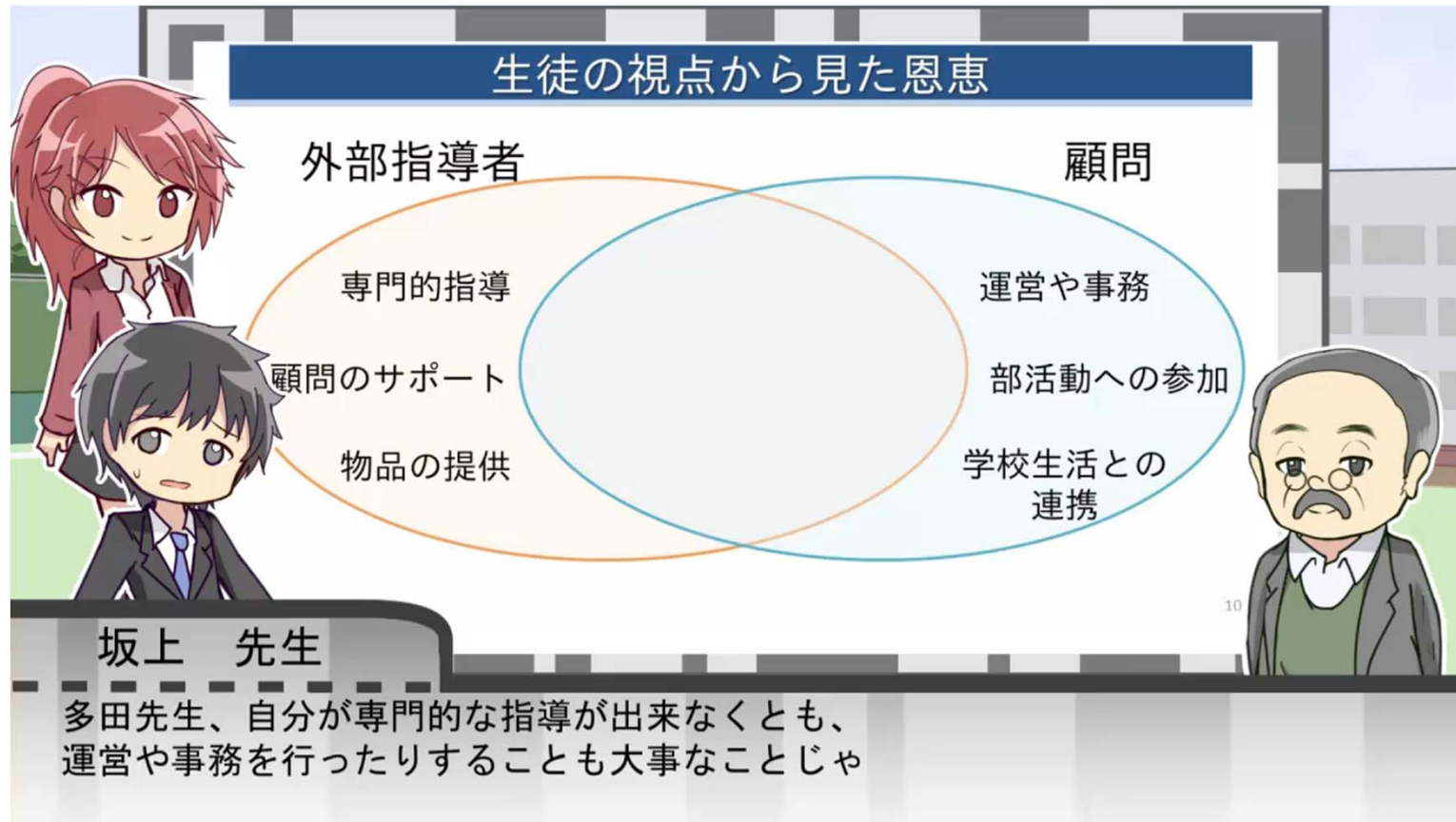
建学の精神を受け継ぎ、地球社会の課題解決に貢献することが、本学の使命です。その使命を全うすべく、多様な視点と先進性をそなえた研究に取り組みとともに、社会の発展のために、真に自由な思考と行動を育きとおす自立した市民を輩出します。

地域から世界まで、あらゆる立場の人びとへの共感に基づく健全な国際協働も、社会の課題解決につながる「実践知」を創出しつつ、世界のどこでも生き抜く力を育む。あまたの卒業生たちと力を合わせて、法政大学は持続可能な社会の未来に貢献します。

Webページ埋め込み利用～ FDハンドブック

ビデオ内製化

アニメーションを内製化できる学生チームを形成した



IMS標準への対応

日本IMS協会の設立に協力しIMS標準に関する情報収集を行った

放送大学、内田洋行、ネットラーニングHDなど6者

「日本IMS協会」創設
 eラーニングやICT教育の仕組みの国際標準化の推進を目的に、日本IMS協会が3日、創設された。グローバルでは教育ICTの国際標準化に向け、IMSグローバルラーニングコンソーシアム（IMS-GLC）が活動しており、今後は協会が中心となりコンソーシアムとの連携を行い、協会設立を記念し、技術の教育利用に貢献のあった事例を顕彰するIMSジャパン賞も創設した。

ディンクス（岸田徹）、デシタル・ナジ（しが弘明社長）、本電子出版協会（下男副会長）の6者。今後の主な活動はIMS-GLCで進める技術標準に関する

eラーニング
 ICT教育
 国際標準化を推進

電波新聞(2016/6/6)



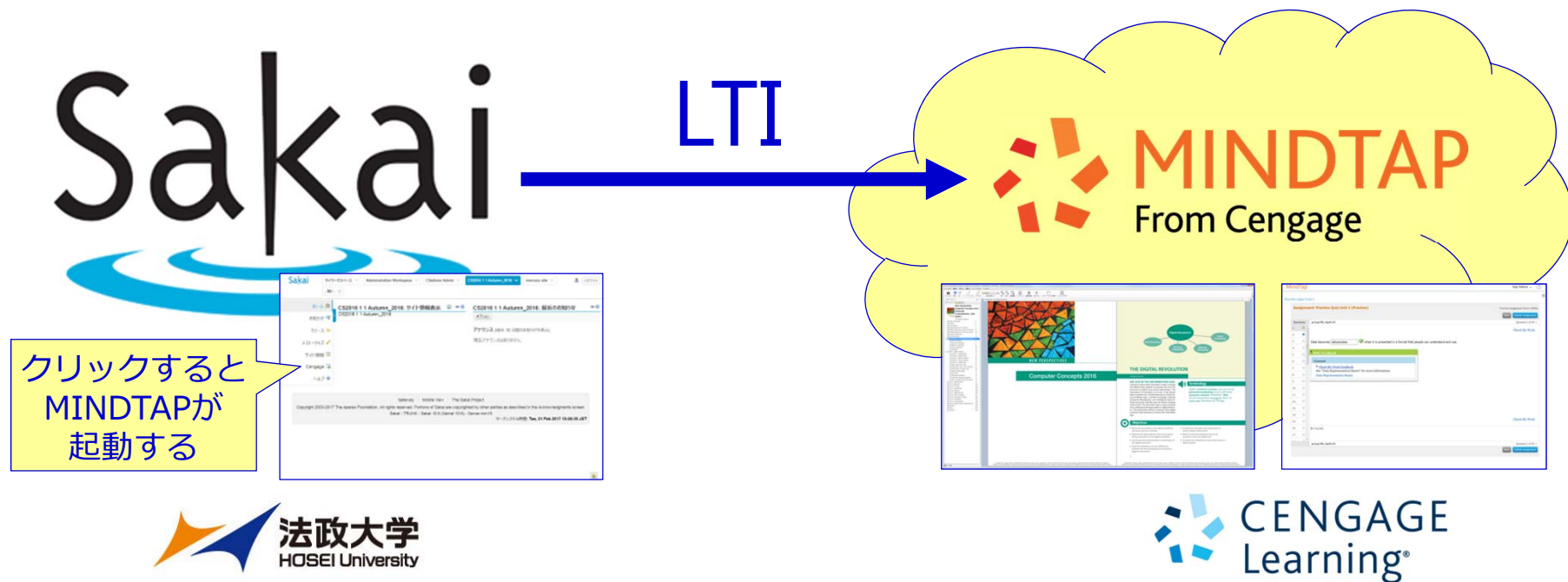
IMS Quarterly Meeting参加
 @Salt Lake City (2016/8/15-18)



IMSワークショップ開催@法政大学(2016/8/25)

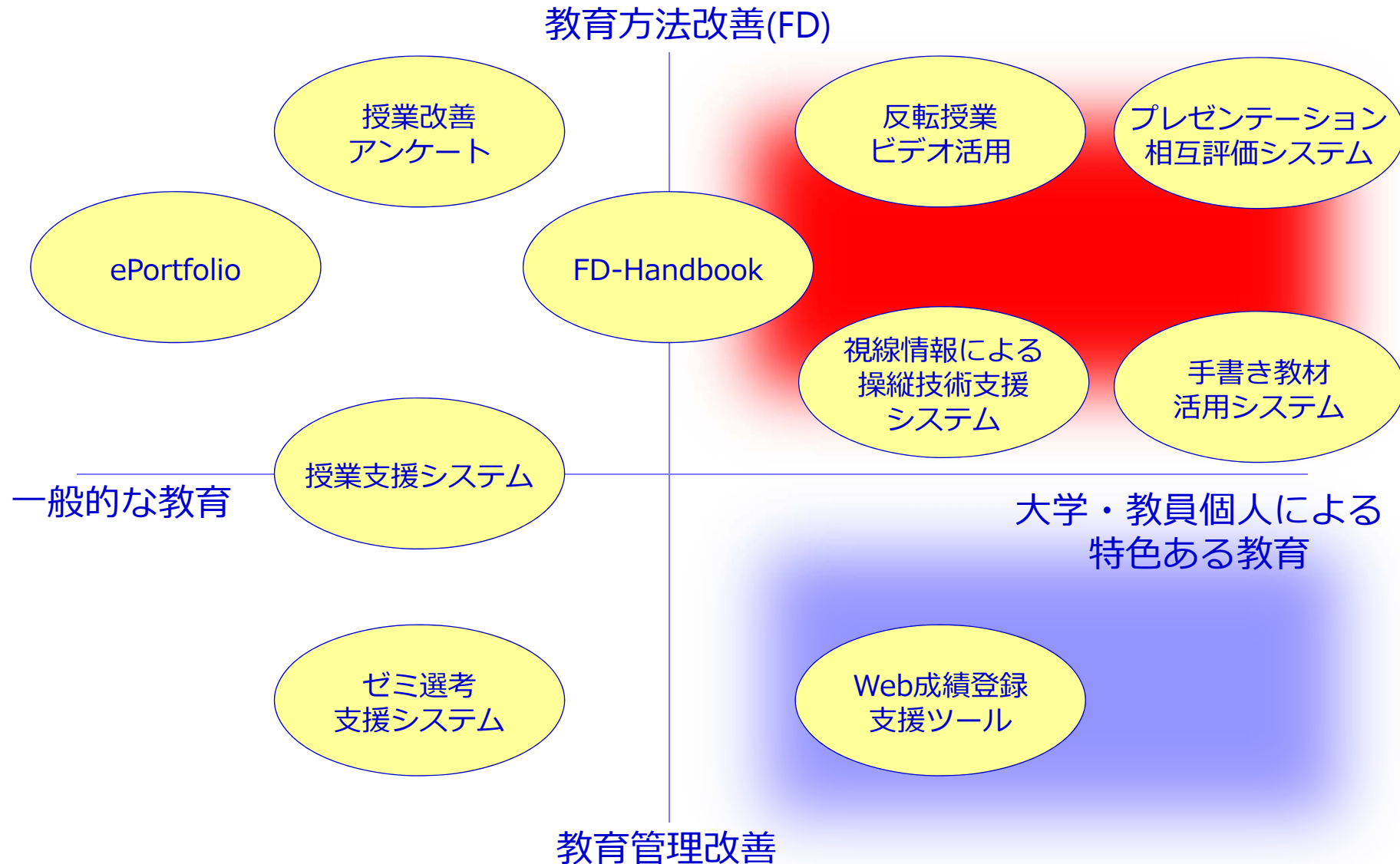
LTIによる外部教材利用実験

Cengage社が提供する教材を授業支援システムから利用した



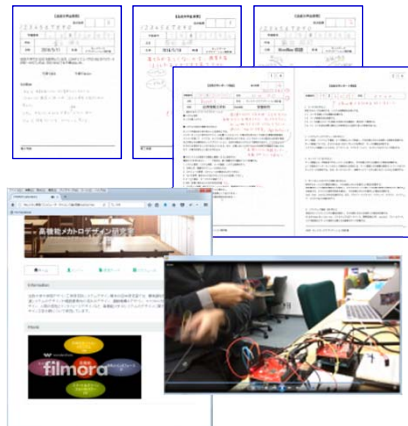
LTI (Learning Tools Interoperability) : LMSと学習ツールのインターフェースに関するIMS標準

特色ある教育を支援するシステム

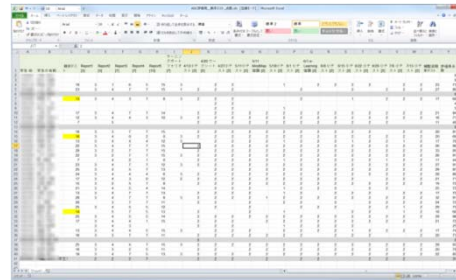


特色ある教育 = 手間のかかる授業？

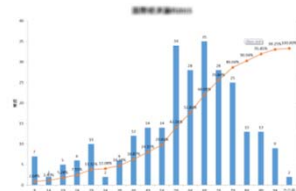
すべて手作業



多くの提出物



Excelへの成績転記

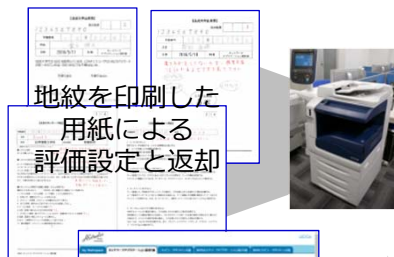


成績分布確認



ラジオボタンによる
成績入力

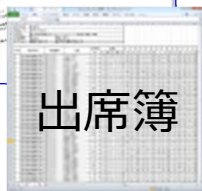
IT支援による作業



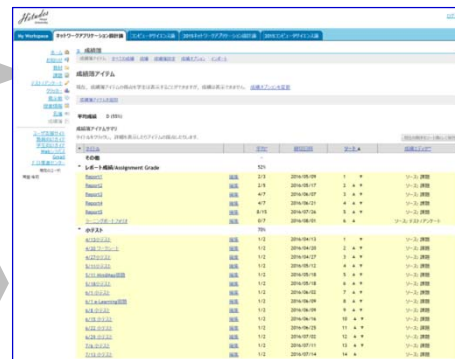
地紋を印刷した
用紙による
評価設定と返却



オンラインテスト

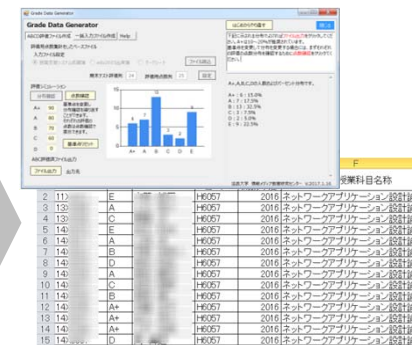


出席簿



学号	名前	科目	成績	出席	遅刻	欠席	遅刻回数	欠席回数
R0001	田中 太郎	2016ネットワークアプリケーション設計論	7	1	0	0	0	0
R0002	山田 花子	2016ネットワークアプリケーション設計論	8	1	0	0	0	0
R0003	佐藤 健一	2016ネットワークアプリケーション設計論	9	1	0	0	0	0
R0004	鈴木 美咲	2016ネットワークアプリケーション設計論	10	1	0	0	0	0
R0005	高橋 誠二	2016ネットワークアプリケーション設計論	11	1	0	0	0	0

授業支援システム
成績簿による集計



学号	名前	科目	成績	出席	遅刻	欠席	遅刻回数	欠席回数
2 113	E	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
3 130	A	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
4 130	O	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
5 140	E	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
6 141	A	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
7 140	B	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
8 140	D	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
9 140	A	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
10 140	O	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
11 140	B	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
12 140	A+	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
13 140	A+	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
14 140	A+	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0
15 140	D	H0067	2016ネットワークアプリケーション設計論	1	0	0	0	0

ABC判定および
成績入力データ作成
ツールの利用



Copy & Pasteによる
成績入力

間接および直接入力

ITを活用した教育および研究の推進

